

令和 7 年度 目黒区立障害福祉施設
指定管理者運営評価結果について

令和 8 年 7 月

健康福祉部障害施策推進課

目 次

1 目黒区心身障害者センター	P 1
2 目黒区立かみよん工房	P11
3 目黒区立大橋えのき園	P15
4 目黒区立下目黒福祉工房	P19
5 目黒区東が丘障害福祉施設	P23
6 目黒区立目黒本町福祉工房	P29
7 目黒区立のぞみ寮	P37
健康福祉部指定管理者運営評価委員会(別表)	P41

1 目黒区心身障害者センター指定管理者運営評価結果について

目黒区心身障害者センター指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区心身障害者センター（目黒区八雲一丁目1番8号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

8ページ「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳出決算額の推移

（単位：円）

項 目	5年度	6年度	7年度	備考
歳 出	322,066,631	326,438,223	328,439,317	指定管理料
	10,797,827	9,456,688	9,449,690	本部補助金
合 計	332,864,458	335,894,911	337,889,007	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	66点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）短期入所

自己評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）特定相談支援

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

（4）地域活動支援センター（障害者活動訓練、入浴）

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（5）身体障害者福祉センターB型（配食・その他）

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

総合評価	65点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）短期入所

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）特定相談支援

総合評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

（4）地域活動支援センター（障害者活動訓練、入浴）

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（5）身体障害者福祉センターB型（配食・その他）

総合評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

（1）生活介護

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	20
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	17
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	18
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	16
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	21
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	212
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		65点	

所 見	【評価できる点について】 ○SNS アプリやタブレットの導入によって、利用者の日々の活動の様子等について写真や動画とともに家族へ迅速に伝えたり、利用者の意思や要望を取り入れた活動の実施が可能となった。透明性が高まることで家族の安心感も増すと考えられる。 ○マニュアルの見直しや警察署員を招いた訓練の実施により、職員の防犯意識及び防犯スキルの向上に努めている。 ○利用者のニーズや希望に合わせて充実した活動を展開している。 【更なる向上を求める点について】 ○新たなツールを活用して利用者や家族とのコミュニケーションを密にし、これまで以上に満足度の高い支援や活動の提供に努められたい。 ○医療的ケアを要する利用者受入の拡充について、区と連携し検討を進めてほしい。
-----	---

(2) 短期入所

(「—」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	17
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	188
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○例年どおり高い利用率を達成したほか、困難ケースや緊急的な利用要望にも積極的に対応している。 ○給食の食材調達方法を見直したことで、利用者の経済的負担を軽減しつつ、幅広いメニューの給食を提供している。 【更なる向上を求める点について】 ○引き続き区立施設として困難ケースや緊急利用へ積極的に対応するとともに、サービス利用前の聞き取り等を通じて利用者の要望を把握し、適切な支援を提供するよう努められたい。
-----	---

(3) 特定相談支援

(「—」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	187
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		62点	

所 見	【評価できる点について】 ○令和7年度も、相談を断らないという姿勢で新規ケースや困難ケースへ対応していることが高く評価できる。包括支援センター等とも連携し、分野横断的な地域福祉の課題把握にも取り組んでいる。 【更なる向上を求める点について】 ○区立施設として積極的なケース受入を継続するとともに、区と連携して地域課題の把握や課題解決に向けた提案等に努められたい。 ○困難ケースの積極的な受入と、受入後の丁寧な支援を今後も継続してほしい。
-----	---

(4) 地域活動支援センター（障害者活動訓練、入浴）

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	18
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	21
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	207
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所見	【評価できる点について】 ○令和6年度末で施設入浴サービスの送迎委託事業者が撤退したため、令和7年度から新たな事業者への委託となったが、適切に引継ぎを行ったことでスムーズに移行できた。さらに、新事業者により従前よりも充実した車内環境を提供できるようになり、利用者の満足度も向上した。 【更なる向上を求める点について】 ○引き続きボランティア等を活用した障害者活動訓練事業の充実に取り組むとともに、区と連携して地域ニーズに応じた施設設備の活用等を検討されたい。 ○地域に開かれた施設として、引き続き地域との交流を深めてほしい。
----	---

(5) 身体障害者福祉センターB型（配食・その他）

（「―」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		275	168
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		61点	

所 見	【評価できる点について】 ○令和7年度も自主事業として区内障害福祉施設見学バスツアーを実施した。障害児のいる家族にとっては、障害者の日常の活動の様子を実際に見ることで、成人後の生活をイメージする一助になっていると考えられる。 【更なる向上を求める点について】 ○障害理解促進のため、区と連携して地域住民に対する啓発事業等の検討に取り組まれない。
-----	--

目黒区心身障害者センター事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区心身障害者センター
所在地	目黒区八雲一丁目1番8号
施設	障害福祉サービス等を行う施設
事業内容 (条例上の規定)	生活介護、短期入所、相談支援、創作的活動の機会の提供及び社会との交流の促進等、食事サービス、入浴サービス、ボランティアの育成・心身障害者についての啓発、心身障害者に関する活動を行う団体の交流の場の提供、福祉機器の展示・情報提供、施設の利用等

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区心身障害者センター条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 会議室等の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 ウ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 エ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	5年度	6年度	7年度
生活介護 利用者数（定員21人）	13人	13人	13人
通所率	89.3%	92.2%	87.5%
短期入所（定員2人）	延利用日数781日	延利用日数789日	延利用日数796日
基本相談	914件	581件	241件
計画相談	4,296件	6,264件	6,908件
障害者活動訓練事業	延4,229人	延3,894人	延3,151人
入浴サービス	延2,530人	延2,703人	延2,532人

（2）事業の実施状況

項目		5年度	6年度	7年度
あいアイ講座 「ことばの集い」	回数	45回	48回	49回
	参加者数	延272人	延285人	延302人
失語症会話パートナー養成講座	回数	実技講座・実習基礎/実技講座・実習計20回	基礎/実技講座・実習計27回	障害者支援課の委託事業へ移管
	参加者数	12人	14人	
会議室等利用状況		449件（31.8%）	451件（32.5%）	617件（36.3%）

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項 目	7 年度	備考
収入額①	411, 945, 665	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	399, 495, 828	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	12, 449, 837	

以 上

このページは空白です

2 目黒区立かみよん工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立かみよん工房指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立かみよん工房（目黒区上目黒四丁目1番26号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケート結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

13ページ「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳出決算額の推移 （単位：円）

項目	5年度	6年度	7年度	備考
歳出	30,690,000	33,348,000	36,616,000	指定管理料
	3,326,012	2,704,632	2,461,315	本部補助金
合計	34,016,012	36,052,632	39,077,315	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

自己評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

就労継続支援B型

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	20
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	18
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	207
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所 見	【評価できる点について】 ○これまで整理できていなかった職員共有ファイルサーバーへのファイル保存方法やスケジュール管理方法を再整理し、職員が働きやすい環境づくりに努めた。 ○ウェブサイトの構成を見直し活動内容の広報に力を入れたことで、新たな受注獲得につなげた。 ○区内企業と連携したイベント限定商品の開発や、こども食堂へのパン及び焼菓子の無償提供等、地域交流・地域貢献にも積極的に取り組んでいる。 ○利用者のニーズに合わせたきめ細かな支援を心掛けている。 【更なる向上を求める点について】 ○利用者の高齢化や人数の減少に伴い、作業量と工賃の維持が難しくなっていくことが予想される。引き続き効率的な班体制や職員配置を検討されたい。
-----	---

目黒区立かみよん工房事業報告書（概要）

1 施設の概要

施 設 名	目黒区立かみよん工房
所 在 地	目黒区上目黒四丁目 1 番 2 6 号
施 設	障害福祉サービスを行う施設
事 業 内 容 (条例上の規定)	就労継続支援

2 指定管理者の概要

団 体 名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所 在 地	目黒区上目黒二丁目 1 9 番 1 5 号
代 表 者	理事長 鈴木 勝
指 定 期 間	平成 3 1 年 4 月 1 日から令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで（1 0 年間）
受 任 業 務	ア 目黒区立福祉工房条例第 3 条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度 4 月 1 日時点）

項 目	5 年度	6 年度	7 年度
利用者数（定員 40 人）	33 人	33 人	30 人
通所率	86. 3%	84. 2%	83. 7%

（2）事業の実施状況（作業工賃総額、受託状況等）

項 目		5 年度	6 年度	7 年度
作業工賃 支給状況	就労支援事業収入	15, 545, 354 円	16, 042, 856 円	15, 965, 021 円
	工賃支払額	9, 704, 302 円	10, 896, 259 円	10, 189, 238 円
	月平均支払額（1 人）	28, 677 円	33, 261 円	35, 087 円

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項 目	7 年度	備考
収入額①	90, 062, 686	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	97, 793, 675	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	△7, 730, 989	

以 上

このページは空白です

3 目黒区立大橋えのき園指定管理者運営評価結果について

目黒区立大橋えのき園指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立大橋えのき園（目黒区大橋二丁目19番38号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、福祉サービス第三者評価の結果、利用者アンケート結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

18ページ「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳出決算額の推移 （単位：円）

項 目	5 年度	6 年度	7 年度	備考
歳 出	62,906,000	74,631,000	103,371,900	指定管理料
	5,539,449	4,504,545	4,316,091	本部補助金
合 計	68,445,449	79,135,545	107,687,991	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

総合評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 生活介護

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	19
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	16
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	17
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	206
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○支援に困難を伴う利用者が多い中、毎月研修の機会を設ける等により支援に関する職員の不安感の解消に努め、職員の育成に取り組んでいる。 ○町会イベントへの定期的な参加や学校からのボランティア受入等を通して、施設の魅力発信と地域貢献に努めている。 ○利用者に対する支援の質を高めるために、施設内外で様々な活動を積極的に展開している。 【更なる向上を求める点について】 ○引き続き、利用者一人ひとりの特性に合わせた満足度の高い支援体制を継続されたい。 ○強度行動障害がある人への支援体制や居場所づくり等について、今後区とも情報共有のうえ検討を進めてほしい。
-----	--

(2) 日中一時支援（利用時間外活動支援）

（「―」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	17
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	15
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	183
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		61点	

所 見	【評価できる点について】 ○利用者がのびのびと過ごせる環境を生かして、見守りだけでなく創作活動も提供したことで、家族からも好評を得た。 ○強度行動障害の利用者の受け入れや対応に必要なスキルの獲得に向け努力をしている。 ○人材の確保に向け、工夫を凝らした取り組みを積極的に行っている。 【更なる向上を求める点について】 ○職員の支援技術を活用し、他施設での受入が困難な特性のある利用者の受入等について、積極的な対応を期待する。
-----	--

目黒区立大橋えのき園施設事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区立大橋えのき園
所在地	目黒区大橋二丁目19番38号
施設	障害福祉サービス等を行う施設
事業内容 (条例上の規定)	生活介護、日中一時支援（利用時間外活動支援）

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	平成31年4月1日から令和11年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区立福祉工房条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	5年度	6年度	7年度
生活介護 利用者数（定員57人）	41人	36人	38人
通所率	85.3%	84.1%	84.2%
日中一時支援 利用者数（定員10人）	3人	2人	1人
通所率	79.9%	82.5%	86.5%

（2）事業の実施状況（作業活動、課題別活動、行事等）

項目	5年度	6年度	7年度
作業活動	ピクルス・ミートソース・カレー作り、紙漉き、ガラス工芸、美術、書道、音楽・身体表現等		
課題別活動	散歩、バスハイク、体験（コンビニで買物体験）、カルチャー（園芸等）、室内運動、作業療法士によるレクリエーション		
行事等	17回	18回	18回

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	7年度	備考
収入額①	207,141,735	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	184,758,293	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	22,383,442	

以 上

4 目黒区立下目黒福祉工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立下目黒福祉工房指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立下目黒福祉工房（目黒区下目黒三丁目10番2号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 令和5年4月1日から令和15年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

22ページ「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳出決算額の推移

（単位：円）

項 目	5年度	6年度	7年度	備考
歳 出	93,837,500	88,586,000	89,779,000	指定管理料
	5,258,378	4,275,985	3,700,762	本部補助金
合 計	99,095,878	92,861,985	93,479,762	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）就労継続支援B型

自己評価	66点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

自己評価	61点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）就労継続支援B型

総合評価	67点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）日中一時支援（利用時間外活動支援）

総合評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 就労継続支援B型

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	16
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	19
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	18
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	16
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	21
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		325	218
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		67点	

所 見	【評価できる点について】 ○これまで、高品質な焼菓子や利用者の感性を大切にした革・ステッチ作品の生産に取り組んできた結果、区内企業と連携したイベント限定商品の開発や、近隣カフェとの委託販売契約の締結、利用者によるアートのデザイン会社への有償提供等といった成果に結びつき、大幅な工賃アップにつながった。 ○意思疎通に難しさがある利用者に対して図表入りの指差し対話ブックを活用するなどして、本人の意思決定を尊重した個別支援計画の作成に取り組んだ。 ○利用者のニーズに合わせた活動を取り入れるなど、利用者の意向を尊重した取り組みを積極的に行っている。 【更なる向上を求める点について】 ○もっと工賃を得たいという利用者の希望が見られる一方、物価高騰が進み、就労支援事業会計に占める経費の上昇が避けられない状況である。各作業班における工夫を凝らして、工賃の維持向上に努められたい。
-----	--

(2) 日中一時支援（利用時間外活動支援）

（「—」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	19
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	15
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	16
合計		300	185
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		62点	

所 見	【評価できる点について】 ○日中活動後に他施設から障害特性の異なる利用者が集まって支援を行う困難さがある中、各利用者がリラックスして過ごせる環境を確保し、安定した支援を行えている。 ○リスクマネジメントに向けた具体的な取り組みを積極的に実践している。 【更なる向上を求める点について】 ○利用時間外活動支援事業については、地域ニーズが増す一方で制度上の課題も表れてきている。よりよい事業のあり方について区への情報提供や提案を期待する。
-----	--

目黒区立下目黒福祉工房事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区立下目黒福祉工房
所在地	目黒区下目黒三丁目10番2号
施設	障害福祉サービス等を行う施設
事業内容 (条例上の規定)	就労継続支援、日中一時支援（利用時間外活動支援）（令和5年度から実施）

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 鈴木 勝
指定期間	令和5年4月1日から令和15年3月31日まで（10年間）
受任業務	ア 目黒区立福祉工房条例第3条に規定する事業に関する業務 イ 管理物件の日常の維持管理に関する業務 ウ 管理施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	5年度	6年度	7年度
就労継続支援B型 利用者数（定員40人）	37人	38人	36人
通所率	93.8%	92.0%	90.8%
日中一時支援 利用者数（定員10人）	3人	4人	4人
通所率	88.6%	83.3%	81.9%

（2）事業の実施状況（作業工賃総額、受託状況等）

項目		5年度	6年度	7年度
作業工賃 支給状況	就労支援事業収入	6,993,626円	7,137,947円	7,929,504円
	工賃支払額	4,800,780円	4,940,337円	5,507,795円
	月平均支払額（1人）	11,698円	12,253円	14,079円

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	7年度	備考
収入額①	159,951,804	委託料・給付費・自己負担金
支出額②	161,785,719	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	△1,833,915	

以 上

5 目黒区東が丘障害福祉施設指定管理者運営評価結果について

目黒区東が丘障害福祉施設指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区東が丘障害福祉施設（目黒区東が丘一丁目21番15号）

2 指定管理者

社会福祉法人東京援護協会（台東区東上野三丁目18番11号）

代表者 理事長 中村 明彦

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 令和4年4月1日から令和14年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

27ページ「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	5年度	6年度	7年度	備考
歳入	130,982,469	130,634,103	127,036,303	
歳出	237,045,037	236,772,675	232,548,668	指定管理料 処遇改善加算金

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	68点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）福祉ホーム

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）短期入所

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

総合評価	66点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）福祉ホーム

総合評価	60点：必要な水準に達している
------	-----------------

(3) 短期入所

総合評価	60点 : 必要な水準に達している
------	-------------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 生活介護

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	17
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	17
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	21
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	20
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	19
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	215
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		66点	

所見	【評価できる点について】 ○利用者本人による意思決定を重視し、個別支援計画の作成、活動内容の決定、行事の企画等さまざまな場面において利用者の意思確認を行い、希望に沿った支援を心がけたことが高く評価できる。 ○利用者一人ひとりのニーズや希望に沿った個別支援計画を作成し、丁寧かつ満足度の高い支援を展開している。 【更なる向上を求める点について】 ○介護福祉人材の確保が困難な状況が続いており、東が丘障害福祉施設でも人材の定着が課題となっている。引き続き日々の業務の整理や職員の負担軽減策を検討し、職員が働き続けられる環境整備に取り組まれない。
----	---

(2) 福祉ホーム

(「一」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	16
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	181
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		60点	

所 見	【評価できる点について】 ○利用者家族の要望を受けて共益費の支払方法に口座振替を導入するなど、事務の効率化と利用者側の負担軽減に取り組んでいる。 【更なる向上を求める点について】 ○利用者と職員との適切なコミュニケーションを心がけ、利用者の意欲的な生活の支援に努められたい。
-----	---

(3) 短期入所

(「―」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	15
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	16
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	181
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		60点	

所 見	【評価できる点について】 ○初めての利用者だけでなく、定期的な利用者に対しても生活に変化がないか聞き取りを行ったうえでのサービス提供を心がけている点が評価できる。 【更なる向上を求める点について】 ○家族不在時の対応やレスパイト、グループホームへの入所に向けた宿泊体験等、短期入所については高いニーズがある。職員体制を整え、いっそうの利用者受入に取り組まれない。 ○優秀な人材の確保と利用者受入に必要な職員体制の構築のための取り組みを積極的に展開してほしい。
-----	--

目黒区東が丘障害福祉施設事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区東が丘障害福祉施設
所在地	目黒区東が丘一丁目21番15号
施設	障害福祉サービス等を行う事業所
事業内容 (条例上の規定)	生活介護、福祉ホーム事業、短期入所

2 指定管理者の概要

団体名	社会福祉法人東京援護協会
所在地	東京都台東区東上野三丁目18番11号
代表者	理事長 中村 明彦
指定期間	令和4年4月1日から令和14年3月31日まで（10年間）
受任業務 (条例上の規定)	ア 目黒区東が丘障害福祉施設条例第2条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度4月1日時点）

項目	5年度	6年度	7年度
生活介護 利用者数(定員40人)	36人	36人	36人
通所率	92.4%	93.4%	92.8%
福祉ホーム 利用者数(定員7人)	6人	7人	7人
短期入所(定員2人)	延利用日数418日	延利用日数398日	延利用日数357日

（2）事業の実施状況

生活介護	創作活動、作業活動、クラブ活動、外出活動、給食提供、送迎サービス等
福祉ホーム	身体介護（食事・排泄・入浴・更衣・移動等）、相談業務、金銭管理等
短期入所	身体介護（食事・排泄・入浴・更衣・移動等）、金銭管理等

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	7年度	備考
収入額①	232,548,668	委託料
支出額②	236,915,715	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	△4,367,047	

以 上

このページは空白です

6 目黒区立目黒本町福祉工房指定管理者運営評価結果について

目黒区立目黒本町福祉工房指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立目黒本町福祉工房（目黒区目黒本町一丁目14番24号）

2 指定管理者

社会福祉法人いたるセンター（杉並区天沼一丁目15番18号）

代表者 理事長 谷山 勝崇

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 平成29年4月1日から令和9年3月31日まで（10年間）

評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

35ページ「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	5年度	6年度	7年度	備考
歳入	179,976,014	183,110,112	169,667,900	
歳出	287,272,707	292,765,511	296,451,712	指定管理料 処遇改善加算金

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）就労継続支援B型

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）日中一時支援（利用時間外活動支援）

自己評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（4）福祉の店さんまるしえ

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）生活介護

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）就労継続支援B型

総合評価	63点：必要な水準に達している
------	-----------------

（3）日中一時支援（利用時間外活動支援）

総合評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

（4）福祉の店さんまるしえ

総合評価	65点：必要な水準に達している
------	-----------------

10 評価結果内訳及び所見

（1）生活介護

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	17
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱサービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	17
Ⅲ管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	204
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所見	【評価できる点について】 ○福祉人材不足が続く中、経営層から職員としてのあり方を伝える機会を多く設定し、積極的に傾聴の面談を行うなどして、職員の意識向上と定着に取り組んでいる。 ○利用者の希望に応じた活動の提供や看護師による通院同行・健康状態の把握等、きめ細やかな支援を行っている。 ○地域における開かれた施設として存在するための活動に積極的に取り組んで
----	---

	いる。 【更なる向上を求める点について】 ○職員の経験は一人ひとりさまざまではあるが、職員全体の支援技術や施設運営意識の向上について、継続して取り組まれない。
--	---

(2) 就労継続支援B型

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	17
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	17
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	17
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		325	206
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○福祉人材不足が続く中、経営層から職員としてのあり方を伝える機会を多く設定し、積極的に傾聴の面談を行うなどして、職員の意識向上と定着に取り組んでいる。さらにリーダー級職員による毎月の目標面談により、職員の堅実な成長を促している。 ○毎週のアート活動によりコンクールで受賞する利用者がいたほか、作業活動においても利用者アートを自主生産品に取り入れて新製品を開発し、利用者の創作意欲向上に努めている。 ○地域に開かれた施設となるための活動を積極的に行っている。 【更なる向上を求める点について】 ○作業フロアが分かれており、作業内容や必要な支援の量が異なる状況にある。建物の構造上の困難さもあると思われるが、職員負担の平準化やリスクマネジメントの方法を検討されたい。
-----	--

(3) 日中一時支援（利用時間外活動支援）

（「—」は評価項目なし）

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	—	—
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	25	20
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	186
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		62点	

所 見	【評価できる点について】 ○専任職員制を導入し、マニュアル整備等で業務の標準化を図ったことで、効率的に支援を行えるようになった。 ○見守り支援に加えて、利用者の希望に応じた個別の活動や集団での園芸活動を提供し、利用者が楽しく過ごせる環境づくりに取り組んでいる。 【更なる向上を求める点について】 ○専任職員不在時の支援体制や利用者家族との情報共有方法等について、安定して実施できるよう検討を進められたい。
-----	---

(4) 福祉の店さんまるしえ

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営に必要な人員体制が取られているか	25	15
	2 人材の育成、資質の向上に取り組んでいるか	25	15
	3 危機管理・安全対策は適切に行われているか	25	15
	4 情報管理の取り組みは適切に行われているか	25	15
	5 地域との連携は適切に行われているか	25	21
	6 施設設備の管理保全や環境保護の取り組みは適切に行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 設置目的達成に向けて取り組んでいるか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 施設との連携は適切に行われているか	25	15
	10 来店者の満足度向上へ向けた取り組みを行っているか	25	15
	11 店舗・事業の周知は適切に行われているか	25	21
	12 利用者工賃向上に向けた取り組みを行っているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
	14 喫茶の収入は効果的に活用されているか	25	21
合計		350	228
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		65点	

所 見	【評価できる点について】 ○利用者によるアート作品の展示数を増やす等、福祉の店としての空間演出強化に取り組み、障害理解促進につなげた。 ○寄付品や喫茶収入を活用して店内環境を改善し、顧客の待機時間の緩和や商品訴求力の強化を行った。 ○地域に開かれた施設となるため、地域の様々なイベントに積極的に参加している。 【更なる向上を求める点について】 ○物価高騰が続き、自主生産品及び喫茶商品の価格維持が困難になってきている。引き続き店頭での顧客の声を各施設と情報共有しながら、顧客満足度を維持できるよう努められたい。
-----	---

目黒区立目黒本町福祉工房事業報告書（概要）

1 施設の概要

施 設 名	目黒区立目黒本町福祉工房
所 在 地	目黒区目黒本町一丁目 1 4 番 2 4 号
施 設	障害福祉サービス等を行う事業所
事 業 内 容 (条例上の規定)	生活介護、就労継続支援、日中一時支援（利用時間外活動支援）

2 指定管理者の概要

団 体 名	社会福祉法人 いたるセンター
所 在 地	杉並区天沼一丁目 1 5 番 1 8 号
代 表 者	理事長 谷山 勝崇
指 定 期 間	平成 2 9 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで（1 0 年間）
受 任 業 務	ア 目黒区立福祉工房条例第 3 条に規定する事業に関する業務 イ 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ウ 施設の設備等の保全及び修繕に関する業務 エ その他区立施設として必要な業務（会議、研修、調査等） オ 福祉の店の運営（区内障害福祉施設の自主生産品の販売等）

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度 4 月 1 日時点）

項 目		5 年度	6 年度	7 年度
生活介護 利用者数（定員 30 人）		29 人	30 人	28 人
通所率		90.7%	91.1%	90.9%
就労継続支援 B 型 利用者数		44 人	44 人	44 人
定員 50 人（本体 40 人、分室 10 人）		（うち分室 6 人）	（うち分室 6 人）	（うち分室 6 人）
通所率		92.8%	90.4%	89.0%
日中一時支援 利用者数（定員 10 人）		8 人	9 人	5 人
通所率		90.4%	83.9%	82.9%
福祉の店 さんまるしえ	月平均購買客数	1,727 人	1,840 人	1,908 人
	売上	15,595,945 円	17,030,730 円	18,588,390 円

（2）事業の実施状況

項 目		5 年度	6 年度	7 年度
生活介護	活動内容	創作活動、作業活動、クラブ活動、外出活動、給食提供、送迎サービス等		
就労継続支援 B 型 作業工賃支給状況	就労支援事業収入	10,407,359 円	11,990,457 円	12,470,743 円
	工賃支払額	6,529,051 円	7,806,949 円	7,901,053 円
	月平均支払額(1 人)	13,774 円	16,346 円	17,236 円
福祉の店 さんまるしえ	自主製品の 販売等	区内 1 5 施設の製品販売（パン、焼き菓子、弁当、雑貨等）、喫茶		

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項 目	7 年度	備考
収入額①	296,451,712	委託料
支出額②	277,933,956	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	18,517,756	

以 上

7 目黒区立のぞみ寮指定管理者運営評価結果について

目黒区立のぞみ寮指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

1 施設名

目黒区立のぞみ寮（目黒区目黒三丁目4番4号）

2 指定管理者

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団（目黒区上目黒二丁目19番15号）

代表者 理事長 鈴木 勝

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）

評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区健康福祉部指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置された健康福祉部指定管理者運営評価委員会（別表）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者アンケート結果、指定管理者の自己評価等をあらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

40ページ「事業報告書（概要）」のとおり

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	5年度	6年度	7年度	備考
歳入	17,154,203	16,749,707	18,619,723	
歳出	23,211,775	35,355,767	33,958,000	指定管理料 処遇改善加算金
		895,195	817,508	本部補助金
合計	23,211,775	36,250,962	34,775,508	

7 総合評価基準

評価結果	説明
100点～80点	十分水準を超えている
79点～70点	必要な水準を超えている
69点～60点	必要な水準に達している
59点～50点	水準に達していない
49点以下	水準をかなり下回っている

8 指定管理者の自己評価結果（100点満点換算点）

（1）共同生活援助（グループホーム）

自己評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

（2）短期入所

自己評価	62点：必要な水準に達している
------	-----------------

9 総合（評価委員会）評価結果（100点満点換算点）

（1）共同生活援助（グループホーム）

総合評価	64点：必要な水準に達している
------	-----------------

(2) 短期入所

総合評価	63点 : 必要な水準に達している
------	-------------------

10 評価結果内訳及び所見

(1) 共同生活援助（グループホーム）

（「—」は評価項目なし）

評価項目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	18
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	18
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	15
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	20
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	191
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		64点	

所見	【評価できる点について】 ○未整備であった法人ウェブサイトへの情報掲載、パンフレットの作成、地域連携推進会議の実施等により、地域に対する透明性の確保に努めた。 ○利用者の希望に応じた給食提供や行事の実施に加え、通院同行により健康状態の把握に努め、利用者に寄り添った支援が行われている。 【更なる向上を求める点について】 ○利用者の高齢化が進み、場合によってはグループホームでの生活が困難となることも考えられる。利用者が生活の場を移行する際の支援も想定し、区や関係機関と連携されたい。
----	--

(2) 短期入所

(「一」は評価項目なし)

評 価 項 目		配点	総合評価
Ⅰ 経営能力に関する事項	1 管理運営を安定的に行うため、リーダーシップを発揮しているか	25	15
	2 施設を取り巻く環境を把握した上で計画を策定し実行しているか	25	15
	3 経営における社会的責任を果たすよう取り組んでいるか	25	16
	4 リスクマネジメントに取り組んでいるか	25	15
	5 職員と組織の能力向上に取り組んでいるか	25	15
	6 施設の重要課題に対する組織的な活動を行っているか	25	15
Ⅱ サービスの実施に関する事項	7 施設設置目的が達成できているか	25	22
	8 事業計画は適切に策定され、執行されているか	25	15
	9 個別支援計画は適切に作成されているか	25	15
	10 利用者サービスが適切になされているか	25	15
	11 作業活動、創作活動、その他のプログラムが適切に実施されているか	—	—
	12 利用者を保護し満足度を高める取り組みをしているか	25	15
Ⅲ 管理運営の効率化に関する事項	13 管理運営の効率化を図ることができたか	25	15
合計		300	188
総合（評価委員会）評価点（100点満点換算）		63点	

所 見	【評価できる点について】 ○事業周知を積極的に行って継続利用者を獲得したことで、利用日数が前年度比3倍以上と大きく向上した。 【更なる向上を求める点について】 ○区内のショートステイのニーズは高い状況が続いている。職員体制上、自立度に応じて受け入れられる利用者が限られる面があるが、引き続き事業周知等を行い利用実績の向上を目指してほしい。
-----	---

目黒区立のぞみ寮施設事業報告書（概要）

1 施設の概要

施 設 名	目黒区立のぞみ寮
所 在 地	目黒区目黒三丁目 4 番 4 号
施 設	障害福祉サービスを行う施設
事 業 内 容 (条 例 上 の 規 定)	共同生活援助（グループホーム）、短期入所

2 指定管理者の概要

団 体 名	社会福祉法人目黒区社会福祉事業団
所 在 地	目黒区上目黒二丁目 1 9 番 1 5 号
代 表 者	理事長 鈴木 勝
指 定 期 間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 1 1 年 3 月 3 1 日まで（5 年間）
受 任 業 務	ア 目黒区立知的障害者グループホーム条例第 3 条に規定する事業に関する業務 イ 管理物件の日常の維持管理に関する業務 ウ 管理施設の設備等の保全及び修繕に関する業務

3 管理業務の実施状況（施設の利用状況、事業・行事等の実施状況、施設管理の状況など）

（1）施設利用の状況（利用者数は各年度 4 月 1 日時点）

項 目	5 年度	6 年度	7 年度
共同生活援助 利用者数（定員 6 人）	6 人	5 人	6 人
短期入所（定員 1 人）	延利用日数 116 日	延利用日数 44 日	延利用日数 165 日

（2）事業の実施状況

項 目	5 年度	6 年度	7 年度
行事	0 回	4 回	3 回

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項 目	7 年度	備考
収入額①	36, 031, 256	委託料・自己負担金
支出額②	34, 462, 617	人件費・事業費・事務費
差引（①－②）	1, 568, 639	

以 上

(別表)

健康福祉部指定管理者運営評価委員会

職	氏 名	備 考
委員長	岩崎 香	有識者
副委員長	保坂 春樹	健康福祉部長
委 員	長友 祐三	有識者
委 員	仁科 健治	有識者
委 員	関田 まいこ	健康福祉計画課長
委 員	橋川 久美子	福祉総合課長

以 上